

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 27 年 7 月 16 日 (2015.7.16)

【公開番号】特開 2013-255066 (P2013-255066A)
 【公開日】平成 25 年 12 月 19 日 (2013.12.19)
 【年通号数】公開・登録公報 2013-068
 【出願番号】特願 2012-128972 (P2012-128972)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 5/376 (2011.01)
 H 0 1 L 31/08 (2006.01)
 G 0 1 T 7/00 (2006.01)
 H 0 1 L 27/146 (2006.01)
 H 0 1 L 27/144 (2006.01)
 H 0 4 N 5/32 (2006.01)
 H 0 4 N 5/357 (2011.01)

【F I】

H 0 4 N 5/335 7 6 0
 H 0 1 L 31/00 A
 G 0 1 T 7/00 A
 H 0 1 L 27/14 C
 H 0 1 L 27/14 K
 H 0 4 N 5/32
 H 0 4 N 5/335 5 7 0

【手続補正書】
 【提出日】平成 27 年 6 月 2 日 (2015.6.2)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】請求項 2
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【請求項 2】

前記デマルチプレクサ単位回路は、前記第 2 トランジスタが導通状態であるときに前記第 1 トランジスタを非導通状態から導通状態に変化させ、且つ、前記ゲート線の電圧が前記導通電圧に変動した後、前記第 2 トランジスタを非導通状態にする手段を有することを特徴とする請求項 1 記載のアクティブマトリクスパネル。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】請求項 5
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【請求項 5】

前記第 1 電圧を V_{DD} 、

前記第 2 電圧を V_{SS} 、

前記第 1 トランジスタのチャネル抵抗に対し前記第 2 トランジスタのチャネル抵抗が 10 0 0 倍となるときの前記第 2 トランジスタのゲート及びソース間電圧を V_{LL} 、

前記第 1 トランジスタのチャネル幅及びチャネル長を W_6 及び L_6 、

前記第 2 トランジスタのチャネル幅及びチャネル長を W_7 及び L_7 、

前記第 3 トランジスタのチャネル幅及びチャネル長を W_8 及び L_8 、

前記第 4 トランジスタのチャネル幅及びチャネル長を W_9 及び L_9 、
 前記第 1 ～ 第 4 トランジスタの閾値電圧の平均値を V_{TH} とすると、
 次式の関係を満たすことを特徴とする請求項 3 記載のアクティブマトリクスパネル。

【数 5】

$$\frac{W_9/L_9}{W_8/L_8} \geq \frac{(V_{DD} - V_{LL} - V_{TH})^2}{2(V_{DD} - V_{SS} - V_{TH})(V_{LL} - V_{SS}) - (V_{LL} - V_{SS})^2}$$

$$V_{LL} = V_{SS} + V_{TH} + \sqrt{\frac{1}{100} \frac{W_6/L_6}{W_7/L_7} \cdot 2(V_{DD} - V_{SS})(V_{DD} - V_{SS} - 2V_{th})}$$